

良質な医療を提供し、信頼される病院に

川崎病院 通信

今号は整形外科の
特集です!



寛田 佑介
Kanda Yusuke
整形外科医長

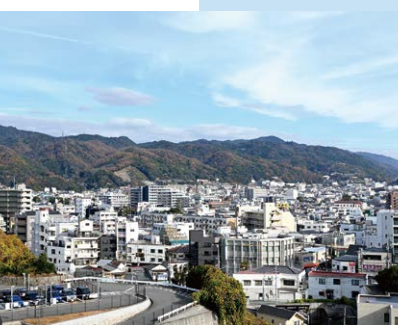


堀之内 豊
Horinouchi Yutaka
整形外科部長

特集

皆さん、 歩いていますか?

2025.DEC. Vol. 47



川崎病院の屋上から

◆みんなの救急車プロジェクト

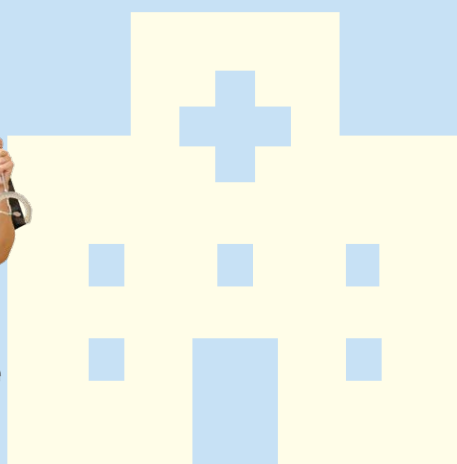
川崎救急の実績をご報告

◆地域医療支援委員会を 実施しました

◆年報を発刊しました



伊藤 多絵
Ito Tae
整形外科専攻医



皆さん、歩いていますか？

「歩く」ことは、単なる移動手段に留まらず、私たちの健康を支える重要な柱となります。高血圧症、糖尿病、脂質異常症、肥満症やメタボリックシンドロームをはじめとする生活習慣病の予防や改善はもちろん、サルコペニアやロコモティブシンドローム、骨粗鬆症を予防するなど、運動器の機能維持と向上が期待できます。さらに、全身の健康への寄与も大きく、心血管疾患やがんの発生率低下が報告されているほか、うつや認知症といった疾患に対しても良好な影響を及ぼすとされています。

しかしながら、加齢に伴い、様々な原因で歩行障害が現れ、生活の質(QOL)を大きく低下させることがあります。当院では、以下の疾患に対し、専門的な診断と治療を提供し、患者さんの歩行機能回復を目指しています。

■ 当院で治療可能な歩行障害を伴う主な疾患

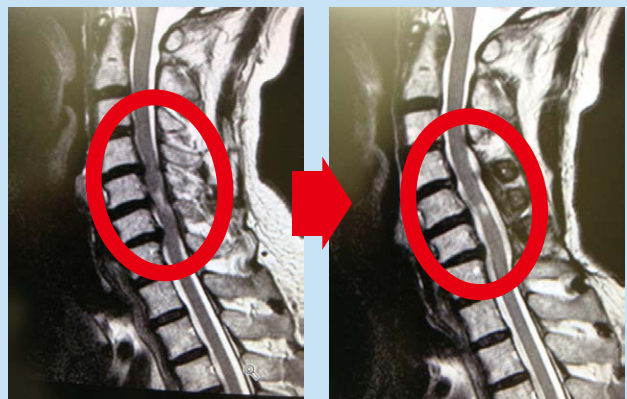
● 脊柱管狭窄症

背骨の中の神経の通り道である脊柱管が狭くなることで、神経が圧迫される疾患です。症状の程度によっては、神経の圧迫を解除し、通り道を広げる手術が必要となります。

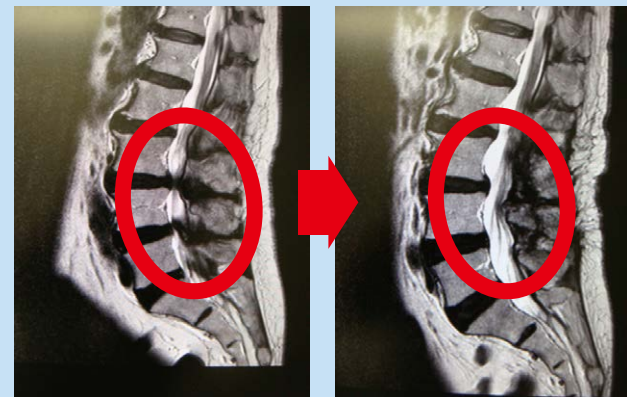
頸椎(首): 脊柱管が狭窄すると、四肢のしびれ、脱力、ふらつきが生じ、バランス感覚の悪い不安定な歩行になります。

腰椎(腰): 神経圧迫により、脚の激痛やジンジンとした感覚のしびれが出現します。特に間欠性跛行^{かんけつせいはいこう}が特徴的で、歩きははじめは問題なく歩けますが、徐々に症状が悪化し、休息を挟まなければ長距離の歩行が困難になります。

■ 頸椎症性脊髄症 術前後



■ 腰部脊柱管狭窄症 術前後



● 変形性関節症

加齢とともに関節のクッション

である軟骨がすり減り、股関節・膝関節などの関節が変形する疾患です。保存療法での改善が見込めない場合には、人工関節置換術などの手術的治療が検討されます。

立ち上がりや歩き始めなどで、関節に強い痛みが走ります。進行すると、関節の動きが制限され、歩行が困難になります。



● 外反母趾

足の親指が曲がり、付け根の関節が突出する変形です。痛みが強く日常生活に支障をきたす場合には、骨切り術などが必要となることがあります。



● 下肢の骨折や外傷

転倒などによる下肢の骨折や損傷などの外傷は、一時的または永続的に歩行機能を損ないます。手術が必要な場合、可及的速やかに手術を行い、早期にリハビリテーションを開始することで、歩行機能の障害を最小限に留めるよう努めます。



推奨される歩行量

18歳～64歳: 1日 1万歩 程度

65歳以上: 1日 8,000歩 程度



地域の医療・介護従事者の皆さん、患者さんとともに

歩行障害の原因は、整形外科領域以外(脳神経内科、脳神経外科、血管外科領域、糖尿病や電解質異常など内科的疾患)の場合もありますので、その場合は他科と連携をとって診療します。また病態や患者さんの普段の生活に寄り添い、しっかりとリハビリテーションを実施したり、認知症ケアチームなど専門チームを介入させたり、ときには保存的加療を行う場合もあります。ぜひ、歩行に関してお困りの患者さんや利用者さんがおられる場合は、当科までご相談ください。

人工関節のナビゲーションシステムを導入しました！
お気軽にご相談ください。
川崎病院の整形外科は、皆さんとともに歩んでいます。



みんなの救急車プロジェクト 川崎救急の実績をご報告

みんなの
救急車
プロジェクト

クラウドファンディング「みんなの救急車プロジェクト」では、たくさんのご支援を賜り、ありがとうございました。

救急車の納車翌日より試験運行を開始し、10月より本格運行しました。運行開始から2ヶ月の実績をご報告いたします。

10月～11月の実績

出動総数: 116回 お断り件数: 0件 入院率: 93.6%

現地到着時間: 9分45秒 (全国の消防署の平均現地到着時間とほぼ同等)

- 運行時間: 平日8:30 ~ 16:30出勤まで
- 現在、医療・介護従事者の皆さまからのご連絡に限定して対応しており、一般の方からの要請はお受けしておりません。

地域の医療・介護従事者の皆さまの負担を軽減するため、救急車へのスタッフの皆さまの同乗は不要としております。ご不明な点がございましたら、お電話にてお気軽にお問い合わせください。詳細なご説明をご希望の場合は、担当者がご訪問することも可能です。

【問い合わせ】地域医療連携室 078-511-3133



第7回 地域医療支援委員会を実施しました

今年も外部の有識者の皆さまを委員にお招きし、当院の地域医療連携体制や病院運営に関する取り組み、今後の計画についてご報告いたしました。次年度も引き続き、地域医療支援病院としての役割を十分に果たせるよう取り組んでまいります。引き続きよろしくお願いいたします。



地域医療支援病院ってなに？

地域の医療機関と連携し、紹介患者さんへの専門医療や救急医療を担う、都道府県知事の承認を受けた中核病院です。また、地域の医療水準向上のため、医療従事者への研修実施も指定要件となっています。

〈担当者からのコメント〉

地域医療支援委員会が無事に終了し、まずは安堵しております。委員の皆さまから活発なご意見や貴重な提言をいただき、十分な準備を重ねた甲斐があったと感じました。ご報告した活動を糧とし、来年度はさらに質の高い支援を目指し尽力していく所存です。

(地域医療連携室 山本恭平)

『川崎病院年報2024』を発刊しました

本年より、年報のデザインと内容を一新し、デジタル版としてご覧いただけるようにいたしました。

これからも、地域医療を守り、より良い医療サービスを提供するために、変革と挑戦を重ねてまいります。

ぜひ、この1年間の成果と私たちの歩みをご覧ください。

【閲覧方法】QRコードを読み取っていただくか、

「神戸 川崎病院年報」で検索ください



新入職医師のご紹介



外科医長 **板倉 弘明** いたくら ひろあき

専門分野 消化器外科、大腸外科

10月より赴任しました板倉 弘明と申します。イギリスでの留学を経て帰国し、臨床業務に復帰いたしました。大腸を専門にしておりますが、消化器全般に対応させていただきます。皆さまのお役に立てるよう誠心誠意努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



歯科口腔外科医員 **家田 彩花** いえだ あやか

専門分野 歯科口腔外科

歯科医師2年目の家田と申します。患者さまに安心して診療を受けていただけるよう、真摯に努めてまいります。地域医療の一端を担う者として、一人ひとりの口腔の健康管理に貢献できるよう、一生懸命取り組みます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

医師の保有資格等詳細なプロフィールにつきましては、ホームページからご覧いただけます。



足の血管外来を 新設しました!



足の血管外来では、“足の動脈の血流障害”が疑われる方を対象に診療します。

必要に応じて、循環器内科・血管外科・形成外科が連携し、薬物治療・カテーテル治療・手術・創傷ケアを組み合わせた治療を行います。

下記の疾患が疑われる方は、当院へご相談ください。

【対象疾患】

下肢末梢動脈疾患・下肢閉塞性動脈硬化症・包括的高度慢性下肢虚血(CLTI)・重症下肢虚血(CLI)・足の壊疽(えそ)など

【外来日】

毎月第1・第3火曜日の14:00 ~ 15:00

【担当医師】

血管内治療科

主任部長 **西堀 祥晴** にしほり よしはる
部長 **今仲 崇裕** いまなか たかひろ



勉強会・特別講座のご案内

■心臓リハビリテーション勉強会を定期開催しています

心臓リハビリテーション(心リハ)は、運動療法だけでなく、服薬・栄養・生活指導を含む包括的な支援です。心臓病の患者さんが住み慣れた地域で安心して生活をするためには、地域の多様な専門職が、患者さんごと家族を支えるために、連携して支援することが不可欠です。

リハビリテーション部では、多職種の専門家を講師としてお招きし、心リハの実践力向上と地域連携のあり方を学ぶための定期勉強会を開催しています。

医療・介護従事者であればどなたでもご参加いただけますので、お気軽にご参加ください。

ぜひ患者さんを地域で支えるネットワークを共に強化しましょう。 詳細なスケジュールや登壇講師は、当院ホームページをご確認ください。▶



■2026年3月13日(金)「入院するとよくみられる心の変化」の特別講座を開催します

当院のホームページで常にアクセスランキング上位である「**入院するとよくみられる心の変化**」のページ。この内容をさらに拡充し、病気の診断時から退院、ご自宅での生活までの不安と心の変化に焦点を当てます。初めて病気を告知されたり、急な入院を経験したりする「いざという時」に備えて、当事者と支える側のどちらも心を整え、治療に専念するための具体的な支え合い方をお伝えします。

講師はホームページの原稿を執筆した屋敷看護師が担当します。

この講座は一般の方向けの内容ですが、医療・介護従事者の皆さまにもぜひご参加いただき、患者さん・利用者さん、そしてそのご家族へのケアに活かしていただければ幸いです。



講師

精神科認定看護師／
認定心理士／産業カウンセラー
屋敷 久恵

かあさき健康講座



病気で揺れるこころの守り方

～はじめての診断から入院、自宅での生活まで～

2026年3月13日(金) 13:30 ~ 14:30

【場所】川崎病院 西館5階 第1会議室 【定員】30名 ※予約者優先



▲申し込みフォーム



▲「入院するとよくみられる心の変化」ページ